



DAIKO
大光電機株式会社

保管用

このたびはお買上げいただきありがとうございます。

○この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、
据付工事前・ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。

○お客様自身では据付けないでください（安全や機能の確保ができません）。

○この製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

LED 照明器具

LED ユニット形ベースライト 40形 直付形

[初期照度補正形+5~100%連続調光形]

取扱説明書・据付工事説明書

■販売店・工事店さまへ：この説明書は保守のため、お客様に必ずお渡しください。

■お客様へ：説明書をお読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。

LEDユニットタイプ	LEDユニット品番	質量
6900lmクラス PWM調光	LZA-92818 (W,N,A,Y) E	約0.8kg
5200lmクラス PWM調光	LZA-92817 (W,N,A,Y) E	約0.8kg
4000lmクラス PWM調光	LZA-93067 (W,N,A,Y) E	約0.8kg
3200lmクラス PWM調光	LZA-92816 (W,N,A,Y) E	約0.8kg

直付形	適合本体	器具本体品番	質量
逆富士タイプ 150幅	LZB-93058XW	約1.0kg	
逆富士タイプ 150幅 全長1250	LZB-92585XW	約1.1kg	
逆富士タイプ 230幅	LZB-92586XW	約1.3kg	
笠付タイプ	LZB-92587XW	約1.0kg	
トラフタイプ	LZB-92584XW	約0.6kg	

W: 昼白色 (5000K)
N: 白色 (4000K)
A: 温白色 (3500K)
Y: 電球色 (3000K)

・表の器具本体と組合せてご使用の場合は、本説明書の取付方法をご参照ください。

・上表以外の器具本体の取付方法は、本体に同梱の説明書をご参照ください。

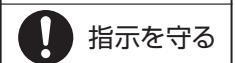
・LEDユニット品番の()内は光色を示します。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■図記号の意味は次のとおりです。



禁止



指示を守る

安全のために必ず守ること



警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。



注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。



- 配線工事、器具取付の際は必ず電源を切る（火災・感電の原因）
- 補強のない天井には取付けない（火災・落下の原因）
- 器具を密集して取付けない（200mm以上離す）（器具の温度が高くなり火災の原因）
- 器具取付けの際は電線を挟まない（絶縁不良により、火災・感電の原因）
- 配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない（絶縁破壊により、火災・感電の原因）
- 電源線・アース線は確実に接続し、端子台の最大送り容量を超えない（火災・感電の原因）
- 引火する危険のある雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所）で使用しない（火災の原因）
- 高温 [35°Cを超える]、高温 [85%RHを超える]、粉じん、機械工場などの油煙のある場所、強い振動・衝撃のある場所で使用しない（火災・感電・落下の原因）
- 狭い箱のような中で使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない（器具が過熱して火災の原因）
- 階段通路誘導灯として使用しない（階段通路誘導灯として機能しない原因）
- 器具を布や紙などで覆わない（可燃物を被せて使用すると火災の原因）
- 器具の改造や指定部品以外の交換はしない（火災・感電・落下の原因）
- 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない（火災・感電の原因）
- LEDユニットは精密機器のため、取付け・取外しの際は器具本体の△マーク付近を持ち、ひねらない（感電・落下の原因）
- 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、据付工事説明書に従い行う（施工不備により、火災・感電の原因）
- 必ず当社の専用器具本体とLEDユニットとの組合せで使用する（火災・感電・落下の原因）
- レースウェイに取付ける場合、器具は建築設備耐震設計・施工指針に基づき施工されたレースウェイに取付ける（落下の原因）



- 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない（過熱して火災の原因）
 - 光を直視しない（長時間直視すると目を痛める原因）
 - 仕様図の指定箇所・指定方向以外には取付けない（火災・落下の原因）
 - 器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない（絶縁不良やさびにより、感電・落下の原因）
 - 直射日光の当たる場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所で使用しない（劣化による落下の原因）
 - 屋外、水や湿気の多い場所、軒下・開放型駐車場・ピロティ等の雨線内で使用しない（火災・感電の原因）
 - 風が吹く場所で使用しない（落下の原因）
 - 表示された電源電圧以外では使用しない（火災・感電の原因）
- 定格電圧の90%以下の使用は、電源ユニットの耐用年限が短くなったり、故障の原因となります。



- 明るく安全にご使用いただくために、半年に1回は「安全チェックシート」により自主点検をする
・「安全チェックシート」についての弊社ホームページをご覧ください。
- 3年に1回は工事店等の専門家による点検を行う（点検不備により、火災・感電・落下の原因）
・照明器具には耐用年限があります。設置して8~10年経つと外観に異常がなくとも内部の劣化が進行していますので、点検・交換をおすすめします。LED光源は光束維持時間に達しても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

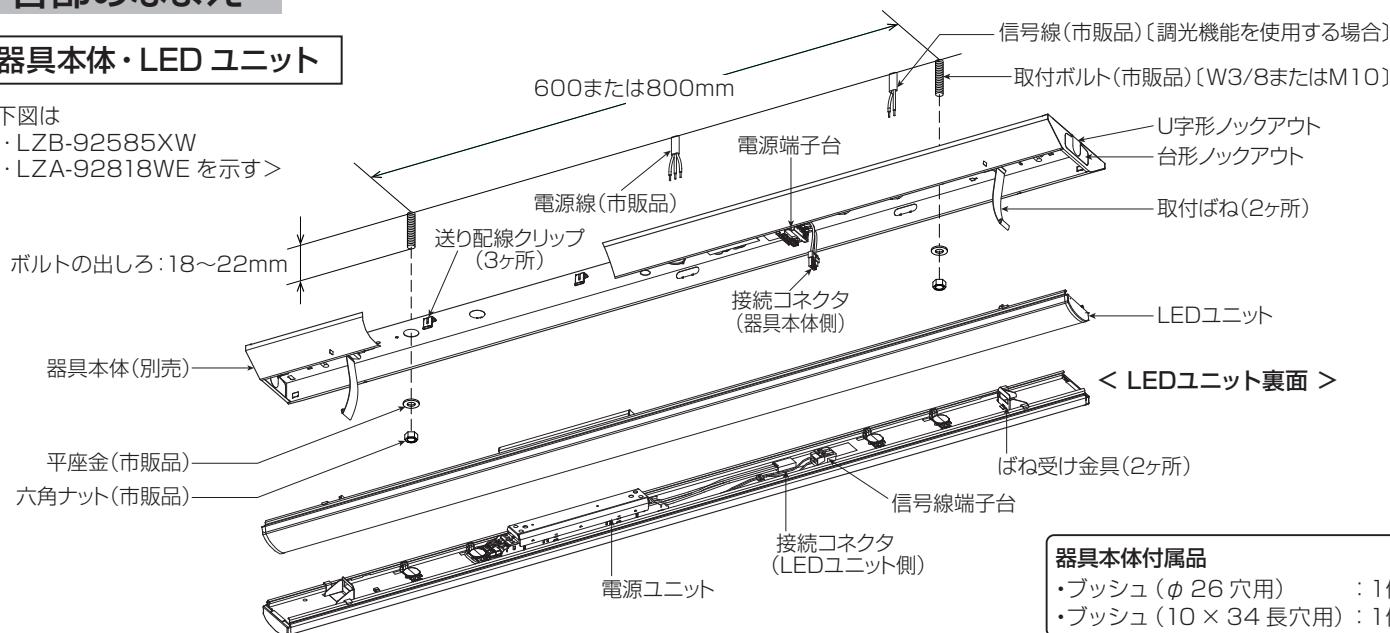
施工者様へ

以下の各部のなまえ・取付方法等をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

各部のなまえ

器具本体・LED ユニット

<下図は
・LZB-92585XW
・LZA-92818WE を示す>



器具本体付属品

- ・ブッシュ(Φ 26穴用) : 1個
- ・ブッシュ(10×34長穴用) : 1個

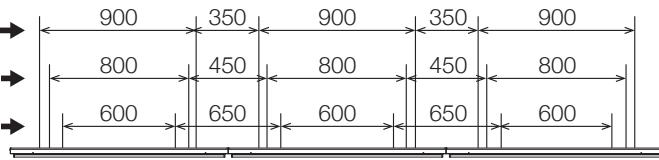
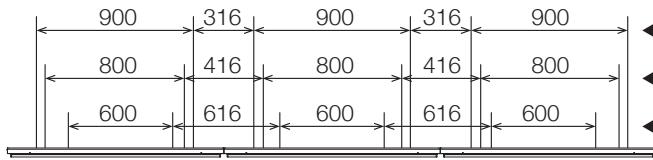
連続取付ピッチ

※取付ピッチ 600mm の使用可否及び取付穴については組合せ品番の仕様図をご確認ください。

[LZB-93058XW・LZB-92587XW・LZB-92584XW の場合]

[LZB-92585XW・LZB-92586XW の場合]

単位 : mm



据付場所の選定

- ・天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな場所
- ・温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生しない場所

- ・一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在しない場所
- ・その他仕様図に記載された事項が守られた場所

取付方法

！警告

施工は、据付工事説明書に従い確実に行い、LED ユニットの取付け・取外しの際は、必ず電源を切る(火災・感電・落下の原因)

1 取付前の確認

- (1) 器具本体質量、LED ユニット質量、及び LED ユニットの引き下げ力(60N)の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

- ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
- ・木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径 4.1 以上を使用し、板厚は 9mm 以上とする。
- ・取付面に対し、取付ボルトが垂直であることを確認する。

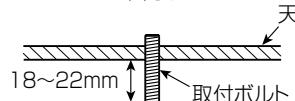
- (2) 取付ボルトの長さは、天井面より 18~22mm にする。

！警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける(落下の原因)

2 器具本体を取付ける

- (1) 器具本体のブッシュ付電源用穴に電源線・アース線を引き込む。ノックアウトの電源用穴を使用する場合は、必ず器具本体に付属のブッシュを取付ける。
- (2) ノックアウトの信号線用穴に必ず器具本体に付属のブッシュを取り付ける、信号線を引き込む。
- (3) 別途手配の平座金、六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。六角ナットの締付トルクは 1.0~1.2N·m。



18~22mm

取付ボルト

お願い

締付トルク値を守ってください。
(器具変形・天井面とのすき間の原因)

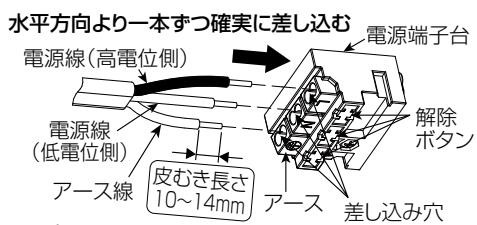
3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。
- ・適合引込み電源線 : Φ1.6mm VVF 単線 または Φ2.0mm VVF 単線
 - ・電源線を電源端子台から取外すときは、幅 6mm のマイナスドライバーで、解除ボタンをまっすぐに押す。
 - ・電源端子台の送り総容量は LED ユニットの明るさタイプで異なります。(下表参照)

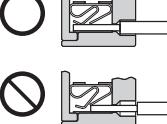
明るさタイプ	送り総容量
6900lmタイプ	12A
5200lmタイプ	14A
4000lmタイプ	16A
3200lmタイプ以下	20A

！警告

D種〔第3種〕接地工事は電気設備の技術基準に従ってを行い、漏電遮断器を確実に設置する(故障・漏電の時に、火災・感電の原因)



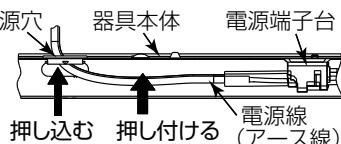
接続状態



！警告

- ・電源の接続は適合電源線の被覆を指定長さにむき、1本ずつ差し込み穴の奥まで差し込む(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)
- ・送り配線は照明器具専用回路とし、電源端子台の送り総容量を確認して接続する(容量を超えると電源端子台が過熱して火災の原因)

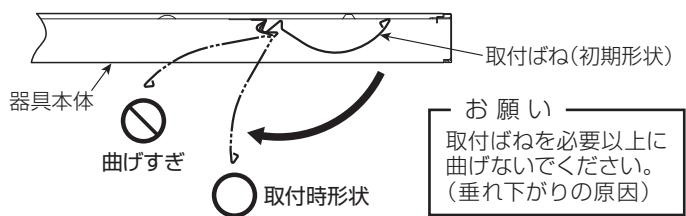
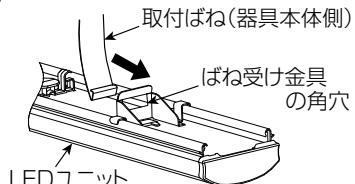
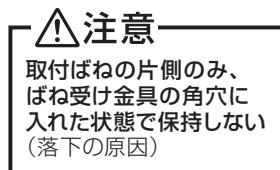
- (2) 電源線・アース線の接続後、余分な電源線はLEDユニットとの当たりを防ぐため、電源穴に押し込むか電源線を器具本体に押し付ける。



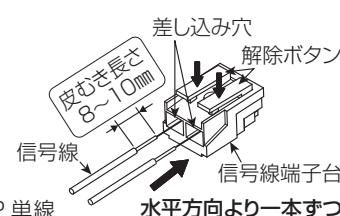
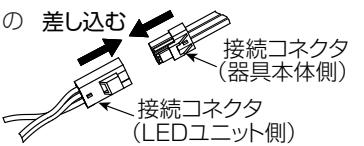
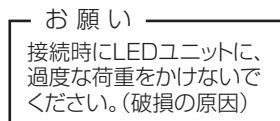
4 LEDユニットを器具本体に取付ける

- (1) 器具本体側にLEDユニットを仮取付けする。

- 器具本体の取付けねを下に曲げて、LEDユニット両側のね受け金具の角穴に入れる。



- (2) 器具本体側とLEDユニット側の差し込む接続コネクタを接続する。

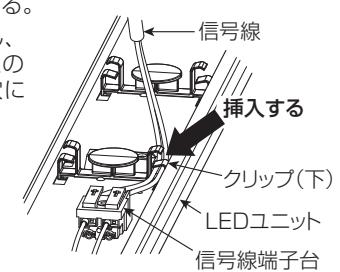
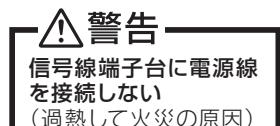


- (3) 信号線を信号線端子台の差し込み穴に水平方向より一本ずつ確実に差し込む。

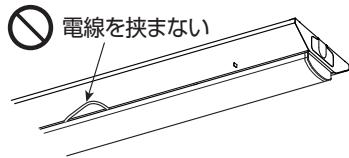
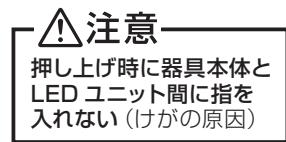
- 適合引込み信号線
: $\phi 0.9\text{ mm}$ FCPEV-1P 単線
または: $\phi 1.2\text{ mm}$ FCPEV-1P 単線
接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。
- 調光信号が入力されると、初期照度補正は解除されますが、連続点灯時間はカウントし続けます。
- 信号線を信号線端子台から取り外すときは、解除ボタンを押す。

- (4) 信号線をLEDユニットに固定する。

- 信号線をクリップ(下)に挿入し、余分な信号線はLEDユニットとの当たりを防ぐため、信号線用穴に押し込む。



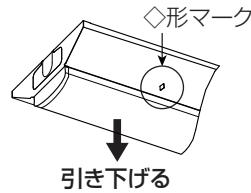
- (5) LEDユニットのね受け金具近傍を持ち、電線を挟まないように器具本体側へ押し上げてLEDユニットを取付ける。



5 LEDユニットの取外しかた

- (1) 器具本体の△形マークを目印に、LEDユニット側面部を持ち、両手で水平に引き下げる。

- (2) 取付けた時と逆の手順で取外す。



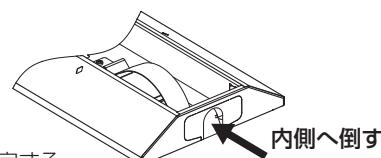
6 連続取付の場合

- 取付ピッチを確認する。(2ページを参照)
 - 器具本体の端部をそろえて連結する(器具本体の中心を合わせる)。
 - 連続取付の中央部から両端に向かってLEDユニットを器具本体に取付ける。
- ※連結金具(LZA-92517:別売)をご使用いただくと、器具本体の中心が合わせやすくなります。
- 連結金具の取付けかたはLZA-92517の取扱説明書をご参照ください。

7 器具間送り配線をする場合



- (1) 天井裏に、電源線・信号線を戻して配線する(推奨)。
- 〔器具内送り配線をする場合〕
- (1) 器具本体のI字形ノックアウトを器具本体の内側に倒して取外す(逆富士タイプの器具は台形ノックアウトも取外す)。



- (2) 取付けね・電源ユニットに触れないように配線し、送り配線クリップに挿入して固定する。

- (3) 信号線をLEDユニットに固定する。

- LEDユニットを仮取付けした状態で信号線をクリップ(上)に挿入する。

据付工事後の確認

- 据付工事が完了しましたら、右表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください(機能が発揮できないばかりか、安全性を確保できません)。

チェック内容	チェック欄
電源線・アース線・信号線を端子台の差し込み穴に確実に差し込んでいますか。	
器具本体とLEDユニットのコネクタを接続していますか。	
器具本体とLEDユニットが確実に取付いていますか。	

試運転

- お客様立ち会いで試運転を行ってください。
スイッチON, OFFなどの運転手順、安全を確保するための正しい使い方についてお客様に説明してください。

お客様への説明

- 取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
特に「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- 物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー・ゼネコン)や管理人などに説明してください。

お客様へ

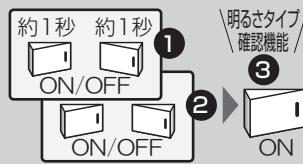
以下の使用方法・お願い等をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。

! 警告

お客様自身で電気工事をしない（火災・感電の原因）
電気工事士の資格が必要です。

明るさタイプ・累積点灯時間の確認

- ① 壁スイッチ操作 ON/OFF を繰り返し 3 回目の ON で ② へ切り替わる
- ② 2 秒間 明るさ 100%
- ③ 明滅回数により 明るさタイプをお知らせ
- ④ 2 秒間 明るさ 100%
- ⑤ 明るさが減光する時間により 累積点灯時間をお知らせ



明滅回数	明るさタイプ
2 回	6900lm
3 回	5200lm
4 回	4000lm
5 回	3200lm
6 回	2500lm
7 回	2000lm

減光時間	累積点灯時間
4 秒間	40000 時間以上
2 秒間	20000 時間以上
1 秒間	20000 時間未満

※壁スイッチの代わりに、調光信号による〔点灯信号 / 消灯信号〕でも同様の確認が可能です。

お知らせ

- ・LED 素子にはバラツキがあるため、器具内の個々の LED や同一形名の器具でも、発光色・明るさが異なる場合があります。
- ・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
- ・虫の飛来が多い場所で使用される場合、LED ユニット内に虫が侵入する恐れがあります。このような場合は、虫が入りにくい防雨・防湿形器具などをおすすめします。
- ・商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
- ・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- ・電源事情の悪い場所では、LED がちらつく場合があります。
- ・バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
- ・誘導及び空間波無線に対する影響：使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。
- ・点灯用電源回路と調光信号回路は基礎絶縁で絶縁されています。

■ 仕様 ■

定格電圧 (V)	入力電流 (A)			消費電力 (W)			平均電力 (W)			
	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	
6900lm クラス PWM 調光	AC100 – 242	0.446	0.227	0.194	43.7	42.7	42.8	39.3	38.4	38.5
5200lm クラス PWM 調光	AC100 – 242	0.336	0.171	0.145	32.9	32.2	32.3	29.6	29.0	29.1
4000lm クラス PWM 調光	AC100 – 242	0.256	0.128	0.109	25.1	24.6	24.7	22.6	22.1	22.2
3200lm クラス PWM 調光	AC100 – 242	0.197	0.099	0.085	19.3	18.9	19.1	17.4	17.0	17.2

・電源周波数 50Hz/60Hz 共用形です。

・組合せの特性については、仕様図をご参照ください。

異常時の処置

! 警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る
(火災・感電の原因)

煙が出なくなったことを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

商品についてのご相談

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。

CS センター (0570)003-937 (ナビダイヤル)

受付時間 (月～金曜) 9:00 ~ 17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

大光電機株式会社

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 3-2-7 高麗橋ビル 6F

この説明書は、再生紙を使用しています。